

主はわたしに報いてくださった。わたしはどのように答えるのか。詩編116編12節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095(843)3869 FAX 095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤木博英社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095(821)2146 FAX 095(821)2148

よきおとずれ

CATHOLIC NAGASAKI MONTHLY
カトリック長崎大司教区報

2月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：心に障害を持つ人々
- ②宣教の意向：奉獻生活者の会
- ③日本教会の意向：信仰と理性の対話

日本司教団の使徒座定期訪問 教皇庁との深い絆のために

昨年末、日本の司教団は定期訪問(アド・リミナ)を行った。この訪問によって、教皇庁に日本の教会の現状を知っていただくと同時に、使徒座との一致を深める機会を得た。特に教皇さまのおこばに日本の司教団は力づけられた。

昨年12月10日～15日、日本の司教団は、5年ごとの使徒座訪問(アド・リミナ)を行った。主な目的は、聖ペトロと聖パウロの墓参りと教皇謁見である。

教皇さまは、事前に教皇庁に送付されていた過去5年間の日本の教会および各教区の報告書に目を通しておられたようである。ローマの日本人会から多数が参加した。さらに、各司教はそれぞれ希望する教皇庁の省などを訪ねた。高見大司教も他の司教たちと一緒に、教理省、福音宣教、典礼秘跡省、諸宗教対話評議会、開発援助推進評議会、移住移動者評議会、文化財委員会を訪問し、最高責任者の枢機卿さまやスタッフと情報交換や話し合いを行った。



状況についての説明も行った。また聖ペトロ大聖堂中央祭壇下にある聖ペトロの足跡を拝見した。

特に教皇庁儀典室では列福式の準備のために具体的な説明を受けた。最終日には司教団全員で教皇さまに謁見した。まず司教協議会会長岡田武夫大司教が代表してごあいさつを述べ、それに対して教皇さまがおこばを述べられ、司教一人ひとりに胸飾り十字架を贈り、最後に全員に祝福を与えられた。

公式訪問明けの16日(日)午前9時15分からイエズス会本部聖堂で故濱尾文郎枢機卿さまの追悼ミサをささげた。総じて有意義な訪問であった。



山田 勇 神父
山田 勇 神父
山田 勇 神父

1月26日午前1時47分呼吸不全のため、長崎市長崎市鳴滝町に住む。93歳。三原台病院で帰天。93歳。1914年5月2日長崎市生まれ。浦上教会出身。39年3月21日大浦天主堂で司祭叙階。同年5月黒崎主任、43年9月長崎公教神学校、48年4月三ツ山主任、49年10月カトリックセンター(袋町)、51年5月相浦主任、70年3月島原主任、83年3月大山主任。92年に引退後長崎市鳴滝町に住む。03年に大司教館に転居。療養生活を続けていた。通夜は1月27日午後6時に浦上教会信徒会館、葬儀ミサは28日午前11時にカテドラル浦上教会で高見大司教司式式も行われた。

教区報「よきおとずれ」3月号は カトリック新聞との合体号になります

このたび、日本カトリック司教団発行の週刊全国紙「カトリック新聞」3月2日号と、本紙・長崎教区報「よきおとずれ」3月号との合体号が、カトリック新聞社からの提案により臨時発行されることになりました。概要は昨年10月号「よきおとずれ」紙上に掲載いたしました。詳細については以下の通りご連絡いたします。

- 発行日 2008年3月2日付け
- 紙面形態 カトリック新聞のサイズ(A2判)、全6頁(カトリック新聞4ページに加え、長崎教区分2ページを挟み込む形となります)。
- 送付要領 通常、発送元は教区広報委員会(長崎カトリックセンター内)ですが、今回に限り、カトリック新聞社(東京都・江東区)からの郵便あるいは宅配便での発送となります。送付先は、教会や修道会・団体あて、個人あてなど従来通りです。
- その他 発行部数は、①「よきおとずれ」用と②カトリック新聞定期購読者用との合計となり、全国規模で配布されます。以上、ご了承お願いいたします。

長崎大司教区報「よきおとずれ」編集長 中田輝次

ほしなげ

2月11日に今年の教区司祭の叙階式が行われる。叙階式までの準備は万端無事に司祭になつてくれると期待している。新司祭にかけてあげる言葉がある。それは、「大いにもがいてください」ということだろう。理想と現実の違いがあり、勉強してきたことが無力であると感じたため息をついたり、これでもいいのだろうかと思ひ悩むこともある。勉強したことは必ず役に立つ。だがしばしば「そのままで」役に立たない。その最たるものが説教だろう。数学のように理路整然と説教したにもかかわらず、主任司祭の説教のほうが分かりやすいと信徒に言われる。いったい何が足りないのか、祭壇の裏で必死に主任司祭の説教を聞き、メモを取るが、それでも違いが分からない。結論から言うと、主任司祭のようには説教することはできない。主任司祭ではないのだし、経験がまるで違う。今はただ、追いかけるしかない。「弟子は師のように、僕は主人のようになれば、それで十分である」(マタイ10:25)▼もがいてほしいが、むやみに突進しないようにヒントを1つ。信徒、修道者が知っていることを説教に盛り込むようにすればよい。私が知っている聖書学的知識を聞き手が知っているとは限らない。3年ほど経過して、学んだ聖書学の知識が枯渇してもがきだすと、きつとその意味が分かるだろう。気負うことなく、ばちばち行こうぜ。

もつと知りたい 日本の殉教史 第2回 日本の殉教者の数は？(その2)

長崎純心大学学長 片岡千鶴子 修道女

日本の信徒数は約22万人とあります。この時点ではイエズス会だけの宣教時期です。

その後フランシスコ会、ドミニコ会、アウグスチノ会が日本の宣教に参加します。当時は4つの修道会の宣教活動をまとめ報告するということは

「聖」ということばがあります。神さまの領域を指すことばです。ところが「聖」ということばが、二元対立の世界に迷う人間に管理されると、少しやっかいなことになりまして、あらかじめ聖域に囲い

「聖」ということばが、二元対立の世界に迷う人間に管理されると、少しやっかいなことになりまして、あらかじめ聖域に囲い

列福式開催に向けて④ 聖地長崎

実行委員会事務局 橋本 勲

す。人間はなかなか、二元対立の世界を超えられないのです。

「聖地長崎」ということばを時々聞くことがありますが、この呼び名を、それが俗化させず、かえって世界に輝かせるに

「聖」ということばが、二元対立の世界に迷う人間に管理されると、少しやっかいなことになりまして、あらかじめ聖域に囲い

は、どうしたらよいのでしょうか。1つだけ言えることは、いゆる聖域化して、まぼろしの俗世間をでっちあげないことだと思えます。「聖」なるお方であるキリストが運ぶ世界に、排除されるべき俗などあるはずがないからです。去る12月13日、日本司教協議会は列福式の会場を、長崎県営野球場として正式に発表しました。野球場は聖か俗か。それともその対立を超えたものか。聖地長崎の「聖」が試される時が来たよう

浦上司教座聖堂
高見 三明大司教司式

助祭受階者
使徒トマ

岩下 裕志(福江)

浦上司教座聖堂
高見 三明大司教司式

朗読奉仕者
ペトロ

大水

満(曾根・大水)

1月10日、11日、「G8とカトリック教会」をテーマに、第14回「司教のための社会問題研修会」が中央協議会が開かれた。

7月の北海道洞爺湖サミットに 社会司教委、提言を準備

——司教のための社会問題研修

G8とは、主要国首脳会議(サミット)のこと、国際社会が直面するさまざまな課題について意見の交換、決定、宣言が行われる。ところで、前回07年6月「ハイリゲンダム・サミット」の際、イタリアを除く7カ国のカトリック司教協議会会長が参加首脳に提言を送った。今回のサミット

トのためにも同じ趣旨の文書が準備されつつある。研修会は、「2008年洞爺湖サミット」に向けて、日本の教会として何ができるかを探るために行われ、南山大学教授マイケル・シーゲル神父が「洞爺湖サミットとカトリック教会」と題して、また元国

けがれなき聖母の騎士 聖フランシスコ修道女会 誓願式(諫早・小長井)

昨年12月1日(土)10時半から、高見大司教司式のもとに、同会本部修道院聖堂にて次の方々が終生誓願を宣立した。グレイス・マリヤ 石橋真理子(千葉・五井) ザベリーナ・マリヤ 戸川みさき(浜串) また、平成18年11月23日(木)同会において、佐世保市の皆瀬教会出身

お告げのマリア修道会 誓願式(長崎・小江原)

1月14日10時から、長崎小江原のお告げのマリア修道会本部聖堂にて高見大司教司式、約50人の司祭団が参列のもと、誓願式が執り行われた。誓願者は次の通り。△終生誓願宣立者▽ マリア 中尾菊代(三井楽)

2008年度 教区典礼委員会主催研修会日程

- 「生け花による典礼表現・Ⅱ」
日時・場所は未定。(下五島地区)
聖堂の生け花のあり方をみことばの黙想を通して深めます。
- 「ことばの典礼に奉仕する」
7月21日(月・祝)9:00~15:00 青方教会
ことばの典礼の奉仕について、典礼の原則と朗読の技術を学びます。
- 「子どもの典礼奉仕」
7月27日(日)9:00~16:00 松浦市・御厨教会
朗読・聖歌・侍者の基本的方法を学びます(主日のミサがあります)。
- 「復活祭を準備する」
09年3月1日(日)10:30~16:30 相浦教会
聖週間の典礼の原則や意味・留意点を学び、式の流れにそって聖歌やシンボルの解説を行います。
- 【申込み・問合せ】
長崎教区典礼委員会研修会事務局
- 【典礼研修会案内用ブログ(非公式)】
<http://ngstenrei.exblog.jp/>

演の後、質疑応答、翌日は、2人の講師を交えて参加司教全員で意見交換を行った。

G8の首脳は、自国や先進諸国の利益と繁栄のことだけでなく、富の公正な分配、環境保全、平和構築などを全世界の貧困者の視点から見て真剣

に取り組むべきで、今後社会司教委員会が具体的な提言を準備、できれば司教団として発表する。

殉教者の列福記念講演

講師 古果師

平戸地区は、昨年12月16日午後2時から、ベトロ岐部と187殉教者列福記念講演会を田平教会信徒会館で開催した。参加者は、信徒、修



殉教にゆかりがあるローマの3つの泉を題材に、日本の殉教者の教会が生かされた3つの泉として、神の慈悲(隣人愛)、みことば(信仰教育)、祈りと聖体(成長と変化)を紹介し、今後の具体的な目標について貴重な示唆を与えた。

みことばに奉仕する 教区典礼委研修

昨年12月9日と1月20日の両日、教区典礼委員会主催研修会「ことばの典礼に奉仕する」が佐世保市の俵町教会で行われた。ことばの典礼の意味・内容の朗読、また朗読奉仕者としての役割を学んだ後、実際に発声・発音・朗読の基礎、聖書朗読の



実践に取り組んだ。あるクラスではミサにおける朗読奉仕者の具体的な立ち居振る舞いを交えた練習を(写真)また別のクラスでは実際の朗読を録音してお互いに聞

信教の自由と政教分離 高見大司教が講演

長崎歴史文化博物館 1月18日、長崎市の長崎歴史文化博物館ホールにて、「自由と民主主義を願う市民のつどい」が開催され、高見大司教が講師として招かれた。これは、1990年の同日に当時の本島長崎市長が右翼団体から銃撃された

ことを受けて、長崎市役所従業員組合が毎年開催しているもの。大司教は、昨年2月に発表された「信教の自由と政教分離に関する司教団メッセージ」を紹介、現憲法下における信教の自由と政教分離に関する規定を守ることが平和の維持につながる、と訴えた。

小共同体づくり 入門講座

第4回「小共同体づくり入門講座」が、カトリックセンターを会場に全10回(07年11月11日~08年1月27日)で開催され、22人の信徒、修道者が参加した。長崎市内からは香焼、中町、八幡町、飽の浦、浦上、城山、滑石、他には、時津、諫早、福岡からも参加があった。今回は人数が少なかつたが、その分、小グループ別の分かち合いや発表などが活発に行われ、講座内容を深める

永井先生と一緒に活動した

聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ会会員
吉田 清さん(87)



先生は1951年5月、腹に水がたまり口から出血がひどく、会員の呼びかけで集まった10余人は、板を集めて担架をつくり、長崎大病院へ搬送した。途中、先生の痛み

がひどく浦上天主堂下と病院手前で休憩したという。先生は搬送して翌2日目、帰らぬ人となった。思い出はつきない。先生は桜の木を長崎大学医学部グラウンド、山里小

と呼ぶ。桜が咲く頃ともなると、汗を流して移植したこともよみがえる。今年の冬の寒さは厳しい。会員は毎年、路上生活者のため、毛布などの支援物資を信徒に募る。この道60年を超す。昨年



ユーフラジア
宇田マシ修道女
(長崎純心聖母会)



ドロテア
深堀富士子修道女
(長崎純心聖母会)

12月22日ロザリオの聖母修道院(長崎)で帰天。97歳。五島市楠原出身。同会の草創期入会者の1人。祭服類の製作や縫製の奉仕に努める。葬儀・告別式は23日、本部聖堂で行われた。

1月2日ロザリオの聖母修道院で肺炎のため帰天。81歳。浦上出身。県内他浦和・東京・名古屋などの幼稚園に勤務、子供たちの成長に心を注いだ。葬儀・告別式は3日本部聖堂で行われた。

訂正
1月号3面に桐小教区設立50周年とあるのは献堂50周年の誤りにつき訂正いたします。



アウグスチノ
高橋 明神父
(フランシスコ会)



ペトロ
中村長右衛門さん
(中村 満師実父)



フィロメナ
岸下ユキ修道女
(お告げのマリア修道会)



ヨアンナ
岩崎シズエ修道女
(お告げのマリア修道会)

昨年11月20日五島市聖マリア病院で帰天。91歳。三井楽町出身。保育園、修道院の炊事などに携わる。特にカテキスタとして地域の信仰教育に貢献。葬儀・告別式は22日三井楽教会で行った。

12月18日黒島修道院で帰天。95歳。19年間海星学園で奉仕。温厚で何事にも前向きに取り組む、周りの人に安らぎを与える存在だった。葬儀・告別式は20日黒島教会で行われた。

12月25日栃木県宇都宮市峰修道院で心不全で帰天。60歳。腎臓病のため透析を受けながら司牧に従事。本原教会に77年、90年まで務める。1月12日、分骨を本原修道院墓地「マリアの山」に納めた。

12月13日老衰のため死去。88歳。子供6男6女。二女お告げのマリア修道会修道女。三男教区司祭(教区本部事務局)。久賀島で農業一筋に生きる。葬儀・告別式は中村師司式で15日福江教会で行う。

教区修道女連盟 「新年の集い」

1月5日、教区修道女連盟では「新年の集い」が長崎信愛幼稚園で開かれ、約180人の修道女が集まった。指導司祭・崎浜宏美師のあいさつに続き、高見大司教から「2008年度の教区の目標」について講話があった。大司教は、永井隆博士生誕



1月13日まで多くの人の目を楽しませた佐世保・浅子教会(主任川上忠秋師)のイルミネーションが九州電力長崎支店の「イルミネーションコンテスト」団体部門で銀賞を受賞した。同教会が聖堂外に飾り付けを行

浅子教会「銀賞」受賞 九州電力のコンテスト

うようになったのは小島栄師(現福江教会)の時代からで14年間続く。飾り付けの打ち合わせは11月1日から信徒代表が話し合い、待降節第1主日(昨年12月2日)に奉仕者約50人のお父さんが

高所作業車、クレーン車を使って汗を流す。昼食は婦人部の手料理、同日午後6時までは飾り付けを終え、子供たちの賛美歌が流れる中、点灯式に移る。冬の海に温かく映える教会のイルミネーション

みことばにふれて 長与教会学校スタッフ

テサロニケの信徒への手紙1 5章16、18節「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたに望んでおられることです。」

私たちの、友だちと仲良く遊んだり、お話ししたり、勉強したりしているのですが、そんな中でふと友だちのことが気になることがあります。たとえば、自分と比べて、あの人の持っているものはすてきだとか、運動がうまいとか、勉強がよくできるとか、絵や文が上手だな、などと人



『ある日、いなかのねずみが、町のねずみを招いてごちそうするのです。町のねずみは一口も

のことがうらやましくなることです。イソップ物語の「いなかのねずみと町のねずみ」の中に登場するねず

100年、ブラジルにおける中村長八神父の列福運動、国際聖体大会、ワールドユースデー、シノドス(世界代表司教会議)など、今年の教会の主な動きについてふれ、とりわけ「使徒パウロの年」

子供の心に映る殉教(完) 加賀山隼人を思う

冷水教会 中学2年 頭島 菜摘

キリスト者が最もキリスト者らしいのは、キリストのように苦しむときである。まだ日本でキリスト教が認められていなかった遠い昔、キリストのために命を尽くし、亡くなった、たくさんの殉教者たちがいた。殉教とは「信仰する宗教のため

れにもかかわらず改宗しない隼人に、細川忠興は何度も改宗を迫ったが、いっこうに信仰に揺らぎのない隼人に対し、処断の決意をした。1619年、10月15日早朝、連行のために来た衛視を待たせ、泣き悲しむ妻と娘に、彼はこう言うたらしい。「今日は私にとって一生で最も歓喜をもって祝うべき日だから悲しむでなく、共に祝ってください」。たいていの人は「殺されるのは嫌だ」と思うだろう。しかし、彼は「一生で最も歓喜をもって祝うべき」と言っている。どの殉教者もそうである。それは、神さまに会えるときがきたからだ。神さまのもとへ行けるのがうれしいからだ。隼人は刑場へ連行され、最後の祈りを唱えながら丘へ登ると、天を仰ぎ「イエス・マリア」と大きな声で唱え、自ら刑吏に首を突き出したそう。

信徒家庭の子供に英会話 米国からの派遣教師

東長崎教会



東長崎教会(主任司祭濱田盛雄師)の信徒会館で東長崎中学の英語教師をしている米国出身のティマー・マイヤー・カイルさん(24)が子供たちに英語を教えている。

まだ信徒家庭にPRされていないのか、生徒は少ないが4歳、小学生、若いお父さん、お母さんも入って、「リード、バック、レフト、ライト」と簡単な英語から学んでいる(写真)。

新刊良書

★十字架の聖パウロの生涯―受難の紋章を心に刻みつけて―

ポール・フランシス・スペンサー著 丸山ヒデ子訳 井上博嗣監修

十字架の聖パウロは、18世紀の最も卓越した神道家と評される聖人。地道な忍耐の連続にあつて、徹底的な清貧と悔悛の生活を守り、イエスの御受難が神の揺るがしえない愛のしるしである

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士
大田白蟻研究所
代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

車イスでお墓参り可 祈りの丘
長崎駅より車15分、小江原車庫前バス停より徒歩3分
夢が丘ニュータウン県道向かい、車50台以上
長崎大理石 (TEL)095-839-0374
経営管理者 (TEL)095-839-1008
祭壇前、規格墓碑一切(即納骨可) **210万円**

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売
たつみ産業株式会社
西田商事株式会社
代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

電気温水器 エコキュート 太陽光発電 配線工事 点検修理
電気設備・エアコン設備
何でも、お任せください
オール電化パートナー店
登録 **オールウェイズ**
☎0120-33-1114
長崎市晴海台町2-14

タンスの中身は入れたまま
責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)
貨物保険有り
・一般引越
・小荷物
・遠距離
・学生引越
・ピアノ運搬
24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00
水浦運送
シモン 水浦 幹雄
長崎市上野町12-3
TEL(095)847-7151
844-1420